

## 学習シラバス ( 芸術 ) 科

科目名	単位数	学年・類型
書道 I	2	第 1 学年

### 1 学習の到達目標等

学習の到達目標	1 書の良さや美しさを感じ、情緒豊かな人間性を高めます。 2 感性を豊かにし、書写能力を高め、表現と鑑賞の基礎的な能力の向上を図ります。
---------	-------------------------------------------------------------------------

### 2 学習計画等

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	書道に親しむ	姿勢や執筆法・用具・用材について理解します。また、使用筆の限界を知ることにより、書写と書道の違いを理解し、芸術としての書道を捉えることができるようにします。
	1 漢字の書・楷書 ① 「九成宮醜泉銘」 ② 「孔子廟堂碑」 ③ 「雁塔聖教序」 ④ 「自書告身」	数種の古典の臨書と鑑賞を通して、書風の違いを理解し多様な美を感じたり、「表現の特徴」を手がかりとして、臨書したりします。また、古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成を理解し、字形や構成を生かした表現を身に付けます。
	篆刻	落款の意味や種類について理解し、篆刻・刻字のよさや美しさを感じます。また、篆刻の用具・用材や落款印の手順について理解し、実際に篆刻作品の制作を通して幅広い書の美を体験します。
2 学 期	2 漢字の書・行書 ① 行書の特徴について ② 「蘭亭序」 ③ 「風信帖」	行書の表現の多様性に触れ、行書の成立について正しく理解します。「蘭亭序と風信帖」の鑑賞と臨書を通して、行書の基本的な表現技法を理解します。
	3 漢字の書・隷書 ① 「曹全碑」	隷書が成立する過程や隷書の特徴を理解し、その美について追及します。
	4 漢字の書・篆書 ① 「泰山刻石」	篆書が成立する過程や篆書の特徴を理解し、その美について追及します。
3 学 期	5 仮名の書 ① 仮名单体 ② 仮名連綿	仮名が成立する過程を学習し、日本ならではの仮名の書のよさについて理解します。仮名の基本的な線や、仮名の単体・連綿について理解し、表現の方法を身に付けます。
	6 創作 ① 漢字仮名交じりの書 ② 創作トレーニング	古典の特徴を生かしたり、用具・用材の使い方や種類を変えたりすることで表現に変化をつけられることを理解します。生活の中の書を再認識し、その意義や効果を考えます。

### 3 評価の観点及び内容、評価方法

	評 価 の 観 点 及 び 内 容	評 価 方 法
知識・技能	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 ・作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けている。	・ワークシート ・作品 ・ルーブリック評価
思考・判断・表現	・書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想したり、表現を工夫したりしている。 ・作品の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	・ワークシート ・作品 ・ルーブリック評価
主体的に学習に取り組む態度	・主体的に表現活動や鑑賞活動に取り組もうとしている。	・ワークシート ・作品 ・ルーブリック評価 ・学習活動に取り組む態度